

皆さん、ご入学、ご進級おめでとうございます。この一年が実り多きものとなることを願っています。

大学での「学び」を広げよう

学習サポートデスク 助教 米谷さくら

4月になり、春の訪れを感じる季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2年次以上の皆さん、おかえりなさい。これからの新たな1年、新しい環境や学年での学びを楽しんでもらえればと思います。

さて、「学ぶ」という言葉の意味を考えたことはありますか？大辞泉では、「(1)勉強する。学問をする。(2)教えを受けたり見習ったりして、知識や技芸を身につける。習得する。(3)経験することによって知る。(4)まねをする。」とあります。大学で学ぶとき、受動的・主体的な姿勢が考えられます。「学ぶ」という言葉の意味から考えると、受動的な学びとは「(2)教えを受けたり見習ったりして、知識や技芸を身につける。習得する。」があてはまるかもしれませんが、大学内では、講義を受けることが該当するでしょう。近年の調査によると、大学生には受動的な姿勢の人が増えてきています。ベネッセ教育総合研究所(2022)によると、学習方法に関して「大学での学習の方法は、大学の授業で指導をうけるのがよい」と回答した人の割合が、2008年には39.3%だったのに対し、2021年には57.1%と増加しています。また、大学教育について「学生が知識や技能を身に付けられるかどうかは大学の教育の責任だ」と回答する人の割合も2008年と比較すると増加しています。このような回答から、大学での学びは自分で充実させていくものではなく、提供する側の工夫が必要と感じている大学生が増えているのかもしれない。

では、主体的な学びはどうでしょう。言葉の意味としては、「(3)経験することによって知る。(4)まねをする。」といえます。大学内では、講義内でのグループワークや調査、および実習に参加することが該当しますが、実はそれだけではありません。調べる、探す、参加する、人と話す、これらも主体的な学びとなり、大学での学びを豊かにします。これだけ聞くと簡単なことに感じますよね。調べるとは、気になったことやわからないことを、ネットや本で調べることです。また、わからないことを実践的に調べてみることも含まれます。探すとは、関心のある内容を学べる機会や、居心地のよい空間、一緒に学ぶ友人などを探すことです。参加するとは、関心のあるイベントや取り組み、ボランティアなどに参加していただくことです。探すと参加するは、一部が重なりあっている部分もあります。探して終わるだけでなく、探して見つけたものに参加したり、利用したり、体験してみることで学びを深める手段になります。最後の人と話すとは、友人や教員(先生)と話をすることです。講義の内容や先生の専門分野、課題についてもよいでしょう。話をすることで、自分の学びに役立つことを得ることができますし、お互いのことを知るきっかけにもなります。大学の先生は、皆さんが大学生活を送る上で、支えになってくれる頼もしい存在です。話をする機会があれば、積極的に話をしてみましょう。

大学は知識を与えられるだけの場所ではありません。皆さんが大学での学びに物足りなさを感じたなら、それは自分で充実させることもできます。大学での学びをもっと充実させるために、主体的な姿勢を意識してみませんか。大学の施設・サービスを使い倒して有意義な大学生活をおくり、大学での学びを広げていきましょう！

引用文献：ベネッセ教育総合研究所(2022) 第4回大学生の学習・生活実態調査 データ集[2021年]

<https://berd.benesse.jp/koutou/research/detail1.php?id=5772> (最終アクセス日: 2024年1月22日)



学生相談室の利用案内

◆開室時間

平日 9～17時

*開室日については、ポータルサイト(n☆star)より、「施設・学生支援」→「学生相談室」のトップページ「学生相談室カレンダー」を確認のうえ、ご利用ください。

◆相談スタッフ

中谷 紫乃 (月・火・水・木 担当)
安部 美紀 (月・火・木・金 担当)
三谷 愛 (水・金 担当)

◆利用方法

対面による相談を受け付けています。予約は直接来室するか、メールまたは電話でご連絡ください。メールで予約する場合は、学籍番号と氏名、希望する曜日や時間帯をいくつか明記してください。

心身の健康のこと、対人関係のこと、学生生活のこと、進路のことなど、どのようなことでも構いません。遠慮なくご相談ください。

オープンスペース

学生相談室内には、開室時間中は誰でも自由に利用できるオープンスペースがあります。

事前予約は必要ありません。おひとりでご利用ください。グループで利用する場合は、りらルーム(個室)をご使用ください。りらルームは、最大3名、1回90分まで使えます。



◆精神科医による心の健康相談◆

学生相談室では、精神科医師の田辺等先生にお越しいただき、相談日を設けています。気になる症状がある場合、医療機関の受診や服薬に関する心配がある場合など、精神科医師からアドバイスを受けたい方はご利用ください。無料で相談することができます。

予約は電話かメールで、学生相談室へお申し込みください。

◇前期の日程◇

4/17、5/11、5/15、5/29、
6/5、6/19、7/3、7/17、8/8

相談時間：10:00～12:00

※8/8は15:00～17:00

《編集後期》

春休み期間中は、コロナ禍で会えなかった旧友と久しぶりに会ったり、読みたかった本を読んだり、温泉へ行ったりして、目一杯エネルギーチャージしました。また一年間、息切れしないように過ごしていこうと思います。(安)



〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 北星学園大学短期大学部

学生相談室

相談室直通Tel：011-891-3929

E-mail：gakuseisoudan@hokusei.ac.jp